

楽しい中ぜん寺湖

宇都宮市立宮の原小学校 四年 杉山 慶

ぼくたち家族は、中ぜん寺湖はんのしょう

ぶがはまに毎年キャンプに行っています。

「おう、きれい。」

キャンプ場に着くと、湖がとても美しく、

ぼくはいつも感動します。まず、リヤカーに

テントなどの荷物をいっぱいひいてキャンプ

をする場所まで運びます。ぼくたちは、いつ

も湖のそばにテントをはります。それは、ご

はんを食べる時も、テントの中からも、きれ

いな湖を見ることができからです。

湖の中に入ると、水が冷たくて気持ちがい

いです。冷たい水の中で泳ぐ小さな魚やとう

明なエビをお兄ちゃんとかまえます。でも、

最後には湖に返してあげます。キャンプ場からカヌーをこぎ出していく人もいます。

ごはんは、明るいうちにみんなで協力して

作ります。湖はんで食べるとすごくおいしく

感じます。ごはんを食べている間に、空の色

がピンク色からむらさき色へと変化して湖の

色もそれと一しよに変わっていきます。

夜には、空を見上げると星がいっぱい見え

ます。四年生で星ぎを習ったので見つけよう

としたのですが、むずかしくて見つけられま

せんでした。星ぎにくわしくなって、もつと

いっぱい見つけてみたいです。

早朝には、男体山の方から朝日がのぼり、

きりがかかっている景色がぼくのお気に入り

です。鳥のさえざる声もいっぱい聞こえます。

中ぜん寺湖のキャンプに行くと、美しい景色を見たり、遊んだり食べたりして、いつも元気になります。

今年の五月には、中ぜん寺湖でます釣り体験をしました。湖は日の光をあびて、とてもきらきらしていてきれいでした。まずルアー釣りについて教わりました。投げ方は、さおを後ろにひいて前にビューンとたおすのだそうです。そして、少しリールをまいてやるように教わりました。実さいにやってみると、投げ方がむずかしかったです。長ぐつで少し湖の中に入ってみると、コツがつかめて投げられるようになりました。今回はつれませんでした。次は大きなマスをつつてみたいです。最後に、マスを塩焼きを食べたら、身がふわ

ふわとびきりおいしかったです。

ぼくは、中ぜん寺湖の秋の景色も大好きです。ちょうど秋の紅葉がきれいな時に、家族で行ったことがあります。スワンボートに乗ったら、オレンジ色と黄色の木の葉の色が交じって、湖のまわりをかこんでいました。ボートのそばを魚がすいすいと泳いでいるのも見えました。中ぜん寺湖の水はとう明で、きれいなのだと思います。

どんな季節に行っても、中ぜん寺湖はすてきでぼくにとって、大好きな所です。周りの山に登ったり、ワカサギつりをしたり、まだけい験していないことも、やってみたいです。栃木の人はもちろん他の県の人たちにも、ぜひ中ぜん寺湖に行つてほしいと思います。

日光の絶景

私の自慢の場所渡良瀬遊水地

野木町立南赤塚小学校 五年 渡辺 未来

私が、しょうかいする栃木県の百様は、わたしの住む野木町から近いラムサール条約湿地登録の渡良瀬遊水地の文化遺産です。

ラムサール条約とは、正式には「特に、水鳥の生息地として、国際的に重要な湿地に関する条約」といいます。千九百七十一年にこの条約が結ばれたイランの町の名前をとって、「ラムサール条約」と呼ばれています。水鳥や魚などの生き物だけではなく、私たち人間にとっても重要な湿地を守るための条約だそうです。平成二十四年七月三日に遊水地が、登録されて文化遺産になりました。

なぜ私が、この場所をえらんだかというところ

おばあちゃんに住む、生井へ向かうとちゅう、橋から見える広い大地と夕日がとてもきれいで大好きだからです。

遊水地は、栃木、群馬、茨城、埼玉の四県の県境にまたがる面積約三千三百ヘクタールのわが国最大の遊水地と本州最大のヨシ原が広がっています。春には、草や木を害虫から守ってじょうぶな芽を出すためのヨシ焼きがあります。ヨシが燃える炎のはくりよくが、あり地方から見に来る人もたくさんいます。夏には、水を一時的にため水害をふせぐハート形の谷中湖のまわりを、サイクリングしたりバーベキューをしたりしてとても楽しい所です。秋は、大きな夕日がとてもきれいです。冬には、遠くに富士山を見ることができません。

遊水地から見える景色は、最高だと思います

ください。

私は、この場所は栃木で自慢できる場所です。

す。ほかの人にもしようかいしたいです。

遊水地は、自然とたくさん生き物がくらし
ています。豊かな自然と結びついた人々の文化
と歴史があります。そしてたくさんの方が、自
然やレジャーを求めて遊水地に遊びに来ている
そうです。

文化遺産のためにも一人一人がマナーを、守
ってくれて、私はこの自慢の遊水地の自然と景
色がいつまでも変わらず残ってくれたらいいな
と思います。そして、たくさんの方が私と同じ
景色を見て感動してくれたらいいなと思いま
す。

ぜひ、栃木県の、渡良瀬遊水地に遊びに来て

渡
良
瀬
遊
水
地

すごいぞかんぴょう

高根沢町立 東小学校 五年 笹沼 心美

「かんぴょうかんぴょうかんぴょうはしるてる

あのそらこのそらかんぴょうはしろいよ

かんぴょうかんぴょうかんぴょうほしてる

あのひもこのひもかんぴょうはながいよ」

という歌を、みなさんは知っていますか。こ

の歌は、北原白秋という有名な詩人が作詞、

福井文彦という作曲家が作曲した「かんぴよ

う」という歌です。わたしは、この歌をお母

さんに教えてもらいました。早口言葉みたい

でとってもおもしろい歌です。白秋は、大正

十二年八月に講演のため宇都宮に来ました。

講演が終わり、汽車で塩原に行く中、まど

から栃木名物のかんぴょうがほしてある風景

を見て作詞したそうです。わたしは、かんぴ

ょうの事をよく知らなかったので、調べてみ

ました。すると色いろな事が分かりました。

まず、栃木県のかんぴょうは、生産量日本

一。なんと全国生産の九十八パーセント以上

です。かんぴょうは、ウリ科の植物のユウガ

オの果肉を細長くヒモ状にむいて、かんそう

させた食べ物です。ユウガオは、もともと日

本になかったものです。北アフリカやインド

など南の方の国のもので、日本には最初に関

西に伝わりました。その後、今から約三百年

前、滋賀のおとの様の鳥居忠英がみぶに国が

えになつてうつつてきた時、みぶには何も特

産がなかったので、ユウガオの種を滋賀から

取りよせて下野の国に広めました。そして、

明治時代から栃木県の特産品として有名にな
っていききました。

この様に歴史あるかんぴょうですが、わた
しはかんぴょうを使った料理をあまり知りま
せんでした。かんぴょうまきやのりまき、み
そしるしか思いうかびません。お母さんに他
に何かあるか聞いても、もちきん着やこんぶ
まきを作る時ひもがわりに使うとか、まぜご
飯くらいかなあと云います。下野市では、か
んぴょうかん単レシピというパンフレットを
発行しています。そこには、かんぴょうとツ
ナ缶のサラダやかんぴょうの竜田あげなど、
サラダからデザートまでたくさんレシピが
のっています。わたしもかんぴょうの竜田あ
げをお母さんといっしょに作って食べてみま

したが、本当にかん単にできてとてもおいし
かったです。わたしは他の料理も作って食べ
てみたくなりました。インターネットでけん
さくすると、他にも色いろなレシピがみつか
りました。どれもみなおいしそうです。

最後に、かんぴょうは栄養バランスもよく
特に食物せんいやカルシウムなどを多くふく
んでいるそうです。食物せんいは納豆の四倍、
カルシウムは牛乳の三倍もあると聞き、わた
しはびつくりしました。しかも、消化がとて
も良く、便びや夏バテ予防にもいいそうです。
歴史があり、おいしくて、健康にいいかんぴ
ょう。もつともつと全国のみなさんにアピー
ルをしていきたいです。ぜひみなさんも食べ
てみてください。

かん
ぴ
ょう

知ろう広めよう益子焼

宇都宮市立古里中学校 二年 小島 想良

益子では毎年春と秋に陶器市が開催されています。僕は、益子焼が好きな両親の影響で、陶器市が開催される度に行っていますが、何度も通っている間に僕自身も益子焼が好きになりました。

僕が初めて陶器市に連れていってもらったのは、まだ小学生の頃でした。その時はあまり益子焼の良さが分かりませんでした。が、中学生になってから、良いと思うようになりました。

僕が考える益子焼の良さは三つあります。

一つ目は、土の温かみと重みが手に伝わってくることです。益子焼にはプラスチックや

ガラスの食器にはない手に持ったときの優しい質感や土特有のずっしりとした重みがあります。益子焼のカップで温かい飲み物を飲むと、不思議と心が落ちついて、優しい気持ちになれる気がします。

二つ目は、飾らない色合いです。鮮やかな色や模様の食器は気分が盛り上がりませんが、毎日使ってみるとどうでしょうか。パーティーやお祝いにはぴったりかもしれませんが、盛りつける料理の色を選ぶでしょうし、疲れているときには向いていません。でも、益子焼は質素で落ちついた色や模様のもので、どんな料理を盛り付けても、料理の邪魔をせず引き立ててくれます。僕の家では益子焼の食器を使っていますが、肉料理とも、

魚料理とも、サラダや煮物とも合っていて、何を乗せても料理を美味しそうに引き立ててくれます。

三つ目は、一つ一つ形や色、模様などが少しずつ違っていることです。益子焼は手作業でつくられるため、同じように見えても、少し大きかったり、小さかったり、模様が違っていたりします。それぞれに個性があつて、全く同じ物は他にはないという特別感を味わうことができると思います。陶器市では、たくさんの益子焼が並んでいるので、見比べて違いを見つれたり、他の人とどれが好きかを伝え合ったりするのも、益子焼の楽しみ方の一つではないかとも考えています。

このように、見ても、触れても楽しい益子

焼ですが、陶器市に来ている人を見ると、僕と同じ位の年の子供や、若い人の姿が少ないように感じます。今はいつも賑わっています。僕が大人になる頃も賑わっているでしょうか。僕達の子供が大人になる頃も残っていないでしょうか。このままでは賑わっていないかもしれません。このままでは残っていない

では、益子焼をこの先の世代に残していくには何が大切なのでしょう。

僕は、多くの人が益子焼を「知る」ことが大切だと思います。知った人が益子焼を「広める」ことが大切だと思います。そしてみんなが益子焼を「好き」になって、「守っていく」ことがとても大切なことだと思います。

益子焼

栃木の誇り日光東照宮

宇都宮市立古里中学校 二年 森山 晃多

世界遺産、日光東照宮。ここは、日本人の誰もが知る、有名な観光地です。私はこの日光東照宮こそ、栃木の誇りだと思います。

まず日光東照宮とは、江戸幕府初代将軍、徳川家康を神格化した、東照大権現を祀る建物です。その歴史は、少なくとも鎌倉幕府の頃からだと考えられています。

私は、日光東照宮の中で、紹介したいことが三つあります。

一つ目は、五十塔です。私はこの五十塔へ行ったとき、とても驚きました。なぜなら、五十塔を支えている芯柱という柱の下の部分
が、浮いていたからです。私は、なぜこのよ

うな作りなのか気になったので、話を聞くと、この作りだと、地震の揺れをこの柱が吸収してくれて、建物が崩れないそうです。なんとこの作りは、東京スカイツリーにも使われており、江戸時代に作られたものが、現代の建物にも使われています。どのように考えて、この五十塔を作ったのか、私は、昔の人の智慧のすばらしさを感じました。

次に二つ目は、逆柱です。逆柱というのは、陽明門の、十二本の柱の中の一本だけ、彫刻の様子が逆向きになっていることです。なぜこのようになっていくかという点、「建物は完成と同時に崩壊が始まる」という伝承を逆手にとって、わざと完成させないようにしているのです。そこには、徳川家の平和への思

いが込められているそうです。

最後に三つ目は、眠り猫です。眠り猫というのは、奥宮に通じるところにある、猫の彫刻です。江戸時代に活躍した、左甚五郎作といわれ、国宝になっています。眠った姿ではありませんが、前足をしっかりと踏ん張っていることから、実は徳川家康を護るために、寝ていると見せ掛け、いつでも飛びかかれる姿勢をしているというのです。さらに、裏で雀が舞っていても、「猫も眠るほどの平和」ということも表しています。

逆柱にも眠り猫にも、平和への思いが込められています。私は歴史の戦国時代が好きなので、家康が生きていくのに苦労したことを知っています。そんな乱世を生きぬいて、世

の中を治めた徳川家だからこそ、願いだと思いました。

今は平成の大修理が行われています。平成三十一年には、また美しくなった日光東照宮が見られます。私はそれを見に行くのが楽しみです。

私は、このすばらしい日光東照宮を、たくさんの方に知ってもらい、訪れてほしいです

日光東照宮

自然が私達にもたらすもの

小山市立間々田中学校 三年 内藤 優月

夏休みの間に、私は、所属している部活動の関係で、栃木県の北東に位置する那須高原へ、二泊三日の合宿に行きました。

会場に着いて、車から降りたとき、私は驚きました。とても涼しいのです。今が夏とは思えないような感覚にとらわれました。私が住んでいる地域よりは北の方角にあるから、という理由も考えられます。しかし、私はそれだけではないと思います。理由は、周囲に広がる美しい自然を私は見たからです。きっと、その大きな山々が、涼しい空気を生み出してくれたのだと思います。

この涼しい気候は、私達の活動に良い影響

を与えてくれました。長時間にわたる練習は、とても充実していて、学ぶことも多いのですが、体は徐々に疲れを訴え、二日目ともなれば、体はぐったり重く、正直につらかったです。でも、その時ふと思いました。この練習は、那須塩原の土地にいるからこそ、続けられたのだと。約半日に及ぶこの練習は、私の住む地域の暑さでは、全日程を、熱中症などにかからずこなすのは無理だろうと、私は確信しました。

また、今回の合宿で泊まった宿では、地元の野菜を使った料理がたくさんできました。私はここで、これまで苦手で食べられなかったふきを、食べられるようになりました。他にも、いろいろな野菜を食べましたが、どれも

とてもおいしかったです。那須高原には、山や川があちこちにあります。自然は良い土を作りだしてくれれます。そんな土地で育った野菜は栄養たっぷりです。合宿の最終日、私はこの野菜と料理の愛おしさで、少し悲しくなりました。

合宿二日目の練習中、突然大雨が降りました。雨はすぐに止まりました。その後練習が終わり、宿へ向かうバスを待っている時、私は感動しました。山に降った雨が蒸発し、霧のようなものが山の中腹あたりを覆っているのを見たからです。

このように、山は良い景色を生みだします。良い環境と、良い食べ物を、私達にもたらししてくれます。合宿が終わってからあまり日が

たっていない私ですが、あの合宿での日々はきつと忘れないと思います。また、那須高原に行きたいと思います。みなさんも、ぜひ那須高原に行ってみませんか。

那須高原